

# 東北風景街道協議会委員による現地視察結果

日時：平成24年6月13日(水)～14日(木)

場所：青森県横浜町～野辺地町

今回の現地視察では、パートナーシップが活動の中で困っていることについてアドバイスをもらうため、東北風景街道協議会委員(志賀委員、堀委員)にご同行頂き、日本風景街道『黄花紅の東むつ湾ルート』について、地域資源の視察およびパートナーシップ(『黄花紅の東むつ湾ルート運営委員会』)との意見交換会を行いました。

## 1. 現地視察

視察においては、大豆田ゆとり駐車場、自然苑、幸田露伴・大町桂月歌碑、常夜塔、南部・津軽藩鏡塚、防風原林、旧野村家住宅離れなどの地域資源や歴史的資の説明を受けました。その中で委員の方からは、植栽は直線で連続させると柵のような効果を発揮するため注意した方がよい(大豆田ゆとり駐車場)、線路と併設している利点を生かし、車内放送や速度を落として列車運行する提案(幸田露伴・大町桂月歌碑)、柵や通路、案内看板の設置に関してのアドバイス(南部津軽藩境塚)などがありました。



『大豆田ゆとり駐車場』



『幸田露伴・大町桂月歌碑』



『常夜塔』



『南部津軽藩境塚』



『旧野村家住宅離れ』



『意見交換会』

## 2. 意見交換会

観光施設によっては事前勉強が必要なものもあるので、青森空港や新幹線が乗り入れている駅に下北に入るステップとして紹介パンフを設置することも必要との意見がだされました。また、楽しそうな人の姿を観光地につくることが集客につながるの、ベンチ・デッキなどのくつろぎのスペース、写真撮影スポットを設置することや地元のコミュニティスペース(カフェなど)に楽しそうな人が多くいれば観光客の集客も期待できる(さくら効果)などの意見が話されました。

また、パートナーシップからは地域全体を巻き込んで、風景街道としての取り組みを行っていくためのポイントを教えてほしいとの質問がだされました。委員の方からは、コアメンバーがぶれずに活動を継続していくことの重要性、人間は儲からない話しにはついてこないので観光客がお金を落としてもらえる方法を考えること、成功している観光地を視察に行くなどの意見が話されました。